

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市長公室	秘書課	秘書係・渉外係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	03	11	秘書業務に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,866千円	9,503千円	12,710千円	0千円
総人件費	49,478千円	49,575千円	49,575千円	
総事業コスト	58,344千円	59,078千円	62,285千円	

事務事業名	01 秘書業務	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
実績	-		-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-		H27年度				H28年度				その他の指標	-					
改善目標	-	改善目標	特別職への報告案件について、部の定例報告を有効に使うなど、効率的な時間配分を行う。挨拶文は、期限(2日前)までに特別職に提出する。				特別職への報告案件について、部の定例報告を有効に使うなど、効率的な時間配分を行う。挨拶文は、期限(2日前)までに特別職に提出する。										
個別計画	-	事業計画	事前調査票を元に、年間を通して特別職の日程調整を行い、スケジュールを管理する。担当課から提出された挨拶文を確認し、特別職へ手渡す。特別職が出席する会議やイベント等の公務に随行する。賀詞交歓会を、平成28年1月上旬に、ホテルグランド東雲(予定)において開催する。				事前調査票を元に、年間を通して特別職の日程調整を行い、スケジュールを管理する。担当課から提出された挨拶文を確認し、特別職へ手渡す。特別職が出席する会議やイベント等の公務に随行する。賀詞交歓会を、平成29年1月上旬にオークラフロンティアホテルつくばにおいて開催する。				内訳	事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等	-	活動実績	日程調整については、滞りなくスケジュールを管理した(約2,800件)。挨拶文については、必要に応じて修正し、特別職へ手渡した(約900件)。公務への随行については、課内職員が交代で行った。賀詞交歓会については、平成28年1月12日(火)に、ホテルグランド東雲において開催した(参加者550人)。				上半期活動実績					事業費(A)	6,043千円	6,618千円	9,140千円	0千円	
事業分類	D 内部管理事業	成果	特別職(市長及び副市長)の公務について、円滑かつ効率的に遂行してもらうことができた。				上半期成果					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ	課題	各課による飛び込み案件が多く、特別職の執務時間や休憩時間の確保が課題となっている。また、都内での公務が増えており、都内の道路状況を考慮し、場合によっては公共交通機関での移動も視野に入れる必要がある。				課題					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	特別職(市長及び副市長)が、公務を円滑かつ効率的に遂行するため。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	・会議やイベント出席に係る日程調整 ・事前調査票の確認 ・挨拶文等の作成 ・公務への随行 ・賀詞交歓会の開催	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-	目標の進捗状況	-	その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境性	天然資源の枯渇防止 業務に関する資料は、基本的にパソコン画面上で確認し、印刷を極力控える。	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			一般財源	6,043千円	6,618千円	9,140千円	0千円				
										人件費(B)	32,863千円	32,896千円	32,896千円				
										正職員	従事割合	4.00人	4.00人	4.00人			
										時間外勤務	918.00時間	1192.00時間	1192.00時間				
										臨時職員等	無	無	無				
										事業コスト(A+B)	38,906千円	39,514千円	42,036千円				
										H29年度当初積算根拠	-						
										H29年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,866千円	9,503千円	12,710千円	0千円
総人件費	49,478千円	49,575千円	49,575千円	
総事業コスト	58,344千円	59,078千円	62,285千円	

部等名	課等名	係等名
市長公室	秘書課	秘書係・渉外係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	03	11	秘書業務に要する経費

事務事業名	02 市長車等特別職運転・管理業務				指標名	-				指標種別					指標の概要				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-	実績	-	-	-											
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標						
	-	-	-	-	改善目標	事前に、移動先の住所、周辺環境を確認するとともに、出発直前に移動経路の道路状況を調査することで、効率的な運転を行う。				改善目標	事前に、移動先の住所、周辺環境を確認するとともに、出発直前に移動経路の道路状況を調査することで、効率的な運転を行う。								
個別計画					事業計画	・市庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎				事業計画	・市庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
根拠法令等						活動実績	・市庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎				上半期活動実績					事業費(A)	2,593千円	2,655千円	3,340千円
事業分類	D 内部管理事業				成果		特別職(市長及び副市長)の公務スケジュール通りに、安全かつ迅速に移動することができた。					上半期成果					国庫支出金	0千円	0千円
執行体制	職員のみ					課題	都内、市外への移動は、道路状況により到着時間の予想が困難である。				課題						県支出金	0千円	0千円
事業の目的	特別職(市長及び副市長)のスケジュールの履行と、安全な移動のため。												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。なお、運転は基本的に、事務員1名と臨時職員2名で行う。												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
													一般財源	2,593千円	2,655千円	3,340千円	0千円		
													人件費(B)	8,152千円	8,144千円	8,144千円			
													正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人		
													時間外勤務	206.00時間	268.00時間	268.00時間			
													臨時職員等	有	有	有			
													事業コスト(A+B)	10,745千円	10,799千円	11,484千円			
													H29年度当初積算根拠						
ISO 14001	環境性				評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H29年度 の方向性	-	理由	-	
	大気汚染の防止					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
	経済的な運転を心がける。					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市長公室	秘書課	秘書係・渉外係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	03	11	秘書業務に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,866千円	9,503千円	12,710千円	0千円
総人件費	49,478千円	49,575千円	49,575千円	
総事業コスト	58,344千円	59,078千円	62,285千円	

事務事業名	03 後援名義使用承認事務	指標名	後援名義の承認件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	後援名義の使用申請があったものについて、使用を承認した件数。		
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
根拠法令等	つくば市後援名義使用承認事務取扱要項	実績	172件	169件	-							
事業分類	A 任意的事業	H27年度		H28年度				その他の指標				
執行体制	職員のみ	改善目標	-				改善目標	後援名義申請を受け付けた後の、承認の判断及び交付を迅速に行う。				
事業の目的	つくば市以外の団体が主催する事業のうち、市の推進する事業かつ市民の福祉の向上に資すると判断した事業について、つくば市後援名義の使用を承認し、市民への信頼性の確保と公共の福祉の向上を図るため。	事業計画	年間を通して、つくば市後援名義使用の申請のあった催事内容について、関係部署と連携をとるとともに、関連する情報を収集し、後援名義の使用を承認するか否か基準に基づき適切に決定する。				事業計画	年間を通して、つくば市後援名義使用の申請のあった催事内容について、関係部署と連携をとるとともに、関連する情報を収集し、後援名義の使用を承認するか否か決定する。				
事業の概要	つくば市以外の団体が主催する各種事業に対し、「つくば市」の名義をもって後援する旨を表記することにより支援する。申請事業の審査にあたっては、事業が市の推進する事業で公共の福祉の向上に資するものであるか等の観点から審査し、関係部署との協議を経て、つくば市後援名義の使用を承認するか否かを決定する。	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 申請受付件数 172件 承認件数 169件 不承認件数 1件 取り下げ 2件 				上半期活動実績	-				
		成果	後援名義の使用を承認することで、事業の信頼性が向上し、多くの市民の参加を促すことにつながった。				上半期成果	-				
		課題	承認基準に基づき承認を決定するが、営利目的基準等の判断基準に苦慮している。				課題	-				
		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001	環境性	天然資源の枯渇防止	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-			
		業務に関する資料は、基本的にパソコン画面上で確認し、印刷を極力控える。	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
			評価	-				評価	-			
				-					H29年度当初積算根拠			
				-					H29年度の方向性			
				-					理由			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市長公室	秘書課	秘書係・渉外係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	03	11	秘書業務に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,866千円	9,503千円	12,710千円	0千円
総人件費	49,478千円	49,575千円	49,575千円	
総事業コスト	58,344千円	59,078千円	62,285千円	

事務事業名	04 叙勲・表彰事務	指標名	-				指標種別											
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	-							
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
個別計画	-	H27年度				H28年度				その他の指標		-						
根拠法令等	つくば市表彰規則 つくば市長賞交付事務取扱要項	改善目標	死亡叙勲が発生した際には、必要な手続きを1週間以内に行う。				改善目標	死亡叙勲が発生した際には、必要な手続きを1週間以内に行う。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年春及び秋の叙勲候補者を推薦(各1人) 平成27年秋及び28年春の叙勲を内申(該当者) 高齢者叙勲の受章予定(1人) 国、県等から表彰候補者の推薦依頼を受け、該当者がいた場合には、候補者として推薦する。 つくば市長賞交付の申請のあった催事内容について、関係部署と連携をとるとともに、関連する情報を収集し、つくば市長賞交付(不交付)を決定する。 				<ul style="list-style-type: none"> 平成29年春及び秋の叙勲候補者を推薦(各1人) 高齢者叙勲の受章予定(2人) 国、県等から表彰候補者の推薦依頼を受け、該当者がいた場合には、候補者として推薦する。 つくば市長賞交付の申請のあった催事内容について、関係部署と連携をとるとともに、関連する情報を収集し、つくば市長賞交付(不交付)を決定する。 				事業費(A)		220千円	220千円	220千円	0千円		
事業分類	D 内部管理事業	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年春及び秋の叙勲候補者を推薦(各1人) 平成27年秋の叙勲を内申(1人) 高齢者叙勲を内申(1人) 死亡叙勲を内申(1人) 民間自治功労者の表彰候補者を推薦(2人) つくば市長賞を交付(109件) 				上半期活動実績	-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ	成果	叙勲については、地方自治の発展育成に貢献し、功績顕著な個人を讃えることができた。表彰については、市民生活と文化の向上等に、特に功績のあった個人・団体を讃えることができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	叙勲については、地方自治の発展育成に貢献し、功績顕著な個人を讃えるため。表彰については、市民生活と文化の向上等に、特に功績のあった個人・団体を讃えるため。	課題	死亡叙勲が発生した場合、内申等の情報収集を速やかに実施する必要がある。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円				
ISO 14001 環境性	天然資源の枯渇防止	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-				一般財源	220千円	220千円	220千円	0千円
	業務に関する資料は、基本的にパソコン画面上で確認し、印刷を極力控える。		効率性	中：適切な費用対効果が得られている					効率性	-				人件費(B)	4,218千円	4,249千円	4,249千円	
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人		
											時間外勤務	155.00時間	200.00時間	200.00時間				
											臨時職員等	無	無	無				
											事業コスト(A+B)	4,438千円	4,469千円	4,469千円				
											H29年度当初積算根拠	-						
											H29年度の方向性	-	理由	-				